



さて、まずバルーンを適切なサイズに調整しようか。
だいたい直径6、7センチくらいか…

先生、どう考えても適切なサイズじゃないっす…

排尿の機能は考慮してないし、する必要もないからね。
部品がハマればそれでいいのさ。





ふむ、まだ少し大きすぎるな…
中を少し確認してみようかね。



ヒューー

ヒューー

チャッ

どれ、社会の窓から^{なか}腹内を覗いてみようかね。
あゝ、このジッパー、デザインの雰囲気だけじゃな
くて実用性も兼ねてたんスね！



フエー

ヒュー

フエー

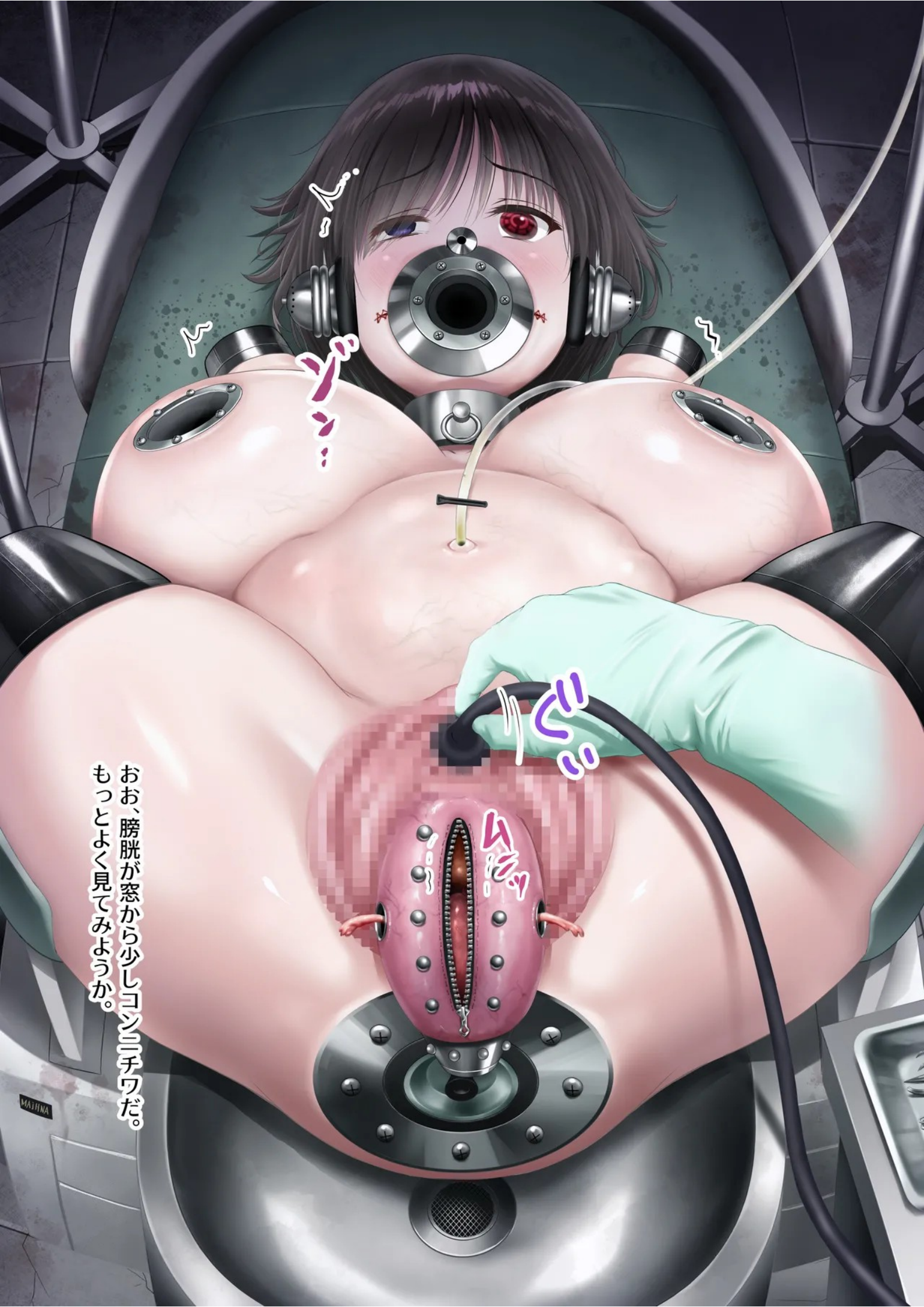
もちろんさ、私のアートには機能性も重要だからね！
それはそうと、中身を挟まないように気をつけねば！
皮を挟むと痛いっすからね……内臓なんて死んでも
挟みたくないっす。



ヒューー

ヒューー

よし、子宮をチャックに挟まずに済んだね！
では膀胱の状態を確認しよう。



おお、膀胱が窓から少しコンニチワだ。
もっとよく見てみようか。



クシャッ

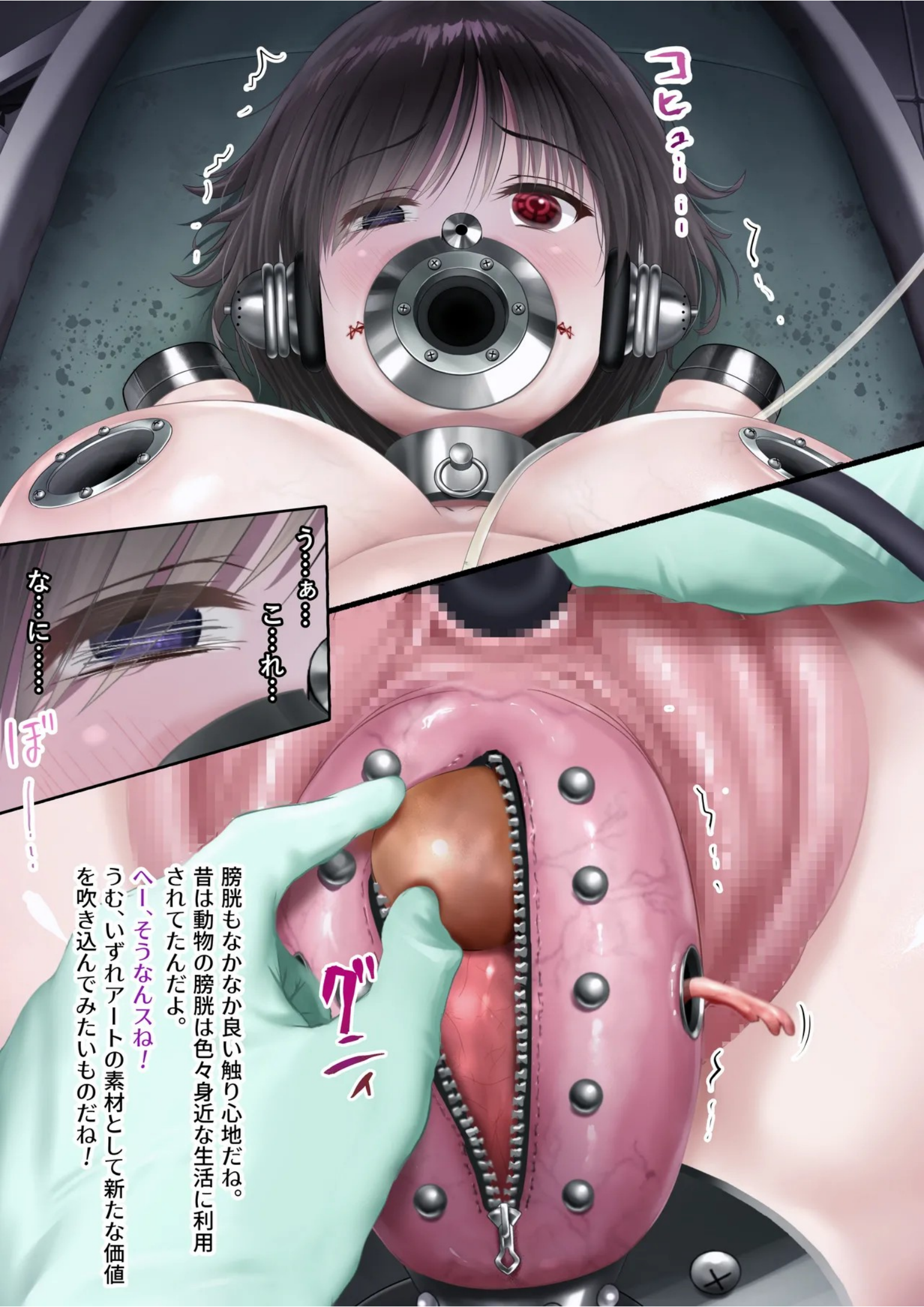
クシャッ

じゅ

モッ

グイッ

ほんの一部だけ露出出来たが、思ったよりまだ
大きいな。
うわあ…こんな感じになってるんスね…



な...に...

う...あ...

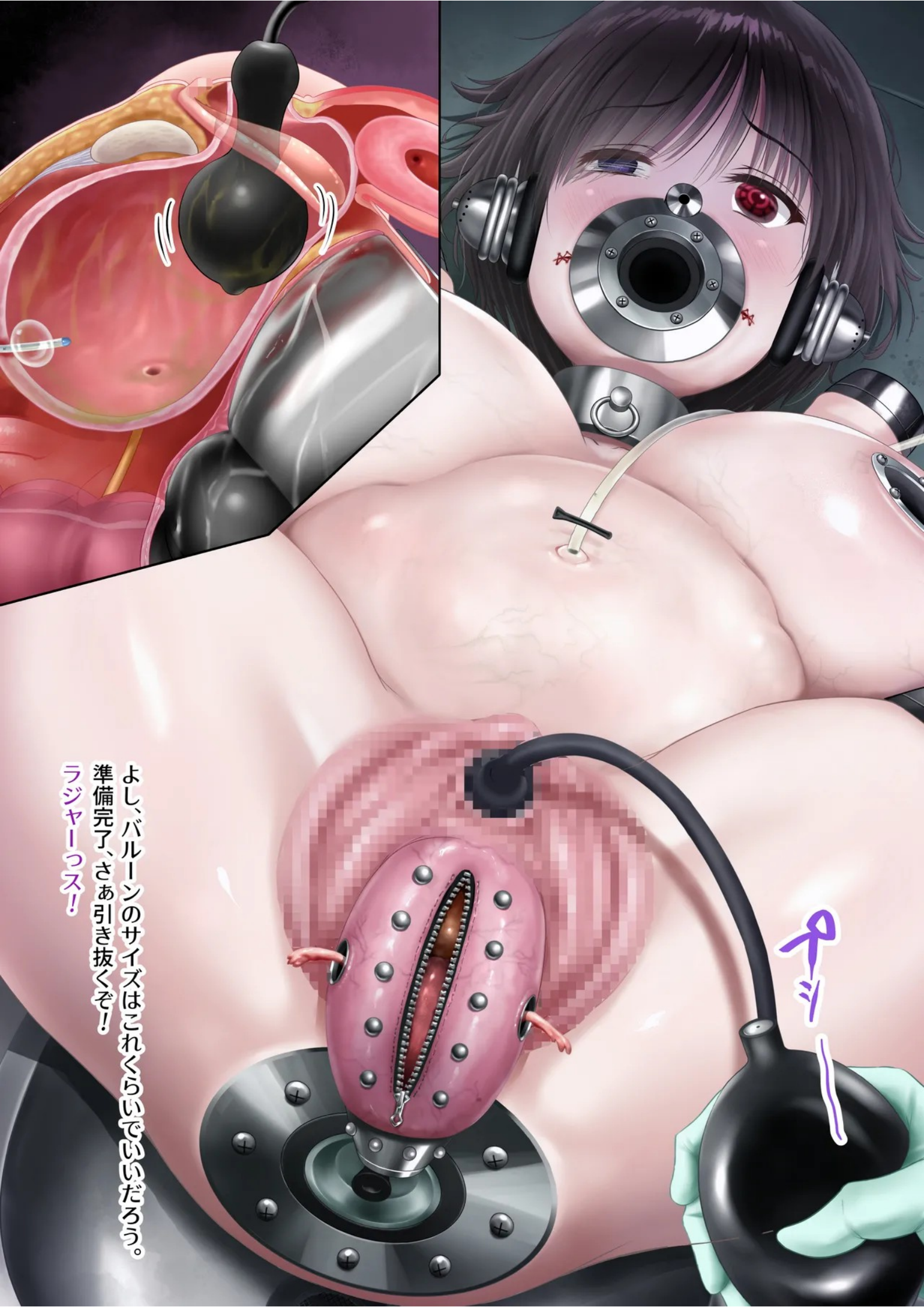
うむ...

ぽー!

膀胱もなかなか良い触り心地だね。
昔は動物の膀胱は色々身近な生活に利用
されてたんだよ。
へー、そうなんスね!
うむ、いずれアートの素材として新たな価値
を吹き込んでみたいものだね!

グニ

うむ...



よし、バルーンのサイズはこれくらいでいいだろう。
準備完了、さあ引き抜くぞ！
ラジャーっス！